

科目名 Course Name	地域観光論 Area Tourism			ナンバリング No.	E4-002		
年次	2 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	原田 紀彦						
連絡方法	C-Learning にて対応						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP4,DP5,DP6						
授業の概要と到達目標	<p>観光立国に向けた動きが活発化している現在、地域における観光を核とした活性化の達成は喫緊の課題となってきた。その課題を達成していくためには、地域の現状を把握し、地域の特徴に合わせた観光振興を図っていくことが求められる。地域活性化のためには、経済的、物理的な豊かさだけでなくとどまらず、人々が自ら住む地域に誇りと愛情を持ち、地域外の人々との交流を通じて、郷土の素晴らしさを再認識することが重要であるが、この講義では観光の視点からその重要性を確認していく。</p> <p>①社会構造の現状と変化を理解し、日本の将来像を述べるができるようにする。 ②各地域の社会動向を把握し、歴史、文化、習慣と観光資源の地域の現状を、身近な事象として捉えることができるようにする。</p>						
授業の方法	全国各地域の地域活性化に向けた取り組みを検証しながら、課題を見つけ出ししていく。栃木県の観光の現状や課題およびその解決策等の検討（課題解決型学習）を行う。任意の地域を選択し、活性化にむけた分析を通じ課題及び対策の検討（課題解決型学習）を行う。						
学習成果	L01	自分の住む地域の観光資源を発掘し、観光振興に活かす施策を考えることができる。					
	L02						
	L03	日本各地の新しいツーリズムの取り組みを説明することができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	質問や疑問等に対しては、授業内にて回答・説明し、各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	授業に使用するプリントや参考資料類は、その都度配布する。						
履修上の留意点やルール等	<ul style="list-style-type: none"> ●3 分の 1 以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。 ●遅刻厳禁、私語は慎むこと。授業途中での無断退出禁止。携帯電話の使用・飲食は厳禁。 ●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。 						
担当教員の実務経験	<ul style="list-style-type: none"> ●実務経験(職種:旅行業、職歴:通算 31 年) 旅行実務経験に基づく観光現場の実情解説を、授業内で活かす。 						
成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	授業に集中し、ノートをとっている。不明なことがあれば積極的に質問する。自分の意見を述べるなどが評価の対象となっている。S 評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。	10		10			
レポート/作品	第 11 回目～14 回目に、地域活性化をテーマに分析レポートに取り組む。S 評価の基準：課題の本質と学習成果が十分にまとめられた内容となっていること。S=90-100			40			
発表							
小テスト							
試験	観光政策と観光行政や、地域振興の具体的事例、観光マーケティングに対し十分な理解ができているかを確認する。S 評価の基準：S=90-100	20		20			
その他							
合計		30		70			

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション（講義の進め方）
	事前・事後学習	オリエンテーション内容の再確認。
2	授業内容	旅行市場の動向
	事前・事後学習	学習した内容の復習を行う。
3	授業内容	観光政策と観光行政
	事前・事後学習	学習した内容の復習を行う。
4	授業内容	観光と地域振興
	事前・事後学習	学習した内容の復習を行う。
5	授業内容	観光産業のマーケティング
	事前・事後学習	学習した内容の復習を行う。
6	授業内容	観光と地域振興の具体的事例① 道の駅活用による地域振興（SWOT 分析）
	事前・事後学習	学習した内容の復習を行う。
7	授業内容	観光と地域振興の具体的事例②東京ディズニーリゾートと三鷹の森ジブリ美術館の経営比較
	事前・事後学習	学習した内容の復習を行う。
8	授業内容	観光と地域振興の具体的事例③ 農業における教育旅行の活動とその課題～酪農教育ファームを中心として～
	事前・事後学習	学習した内容の復習を行う。
9	授業内容	観光行動と着地型情報提供
	事前・事後学習	学習した内容の復習を行う。
10	授業内容	外国人旅行者への着地型情報提供の課題
	事前・事後学習	学習した内容の復習を行う。
11	授業内容	栃木県をテーマにした観光課題の分析を通じて対策を検討する
	事前・事後学習	学習した内容の復習を行う。
12	授業内容	任意選択した地域事例をもとに地域活性化にむけた分析と対策の検討①
	事前・事後学習	配付する資料類の読み込みとレポート作成準備
13	授業内容	任意選択した地域事例をもとに地域活性化にむけた分析と対策の検討②
	事前・事後学習	配付する資料類の読み込みとレポート作成
14	授業内容	任意選択した地域事例をもとに地域活性化にむけた分析と対策の検討③
	事前・事後学習	配付する資料類の読み込みとレポート共有
15	授業内容	全体のまとめ（試験に向けて）
	事前・事後学習	学習してきた内容の総まとめを行う。